

D Xによる学修者本位の学修を実現するための取組みについて

学内ポータルシステムにより、全学生はシラバス内容、成績、履修科目、取得単位数、時間割、GPA等のデータを把握し、自分にあった科目を選択できるように整備されている。

学生の学修状況に応じた科目履修等の学修計画に係るアドバイスについては、システムデータを基にゼミ教員や学務課が支援している。

教員は、学生の学修状況を確認することができ、教育改善につなげている。また、学修状況に応じて、教職員と学生が面談して学修状況の改善に努めている。

学内で行われる、在学生アンケート、卒業生アンケート等各種アンケートとシステム上の各種データを基に、委員会や大学全体における教育課程の編成会議等で改善の検討を実施している。

D Xによる学修者本位の学修を実現するための指標は、アウトプットに関する指標としてシラバスに評価基準・方法を全科目設定(100%)し公開する。アウトカムに関する指標としては、授業評価アンケート結果において、総合評価が5点満点中3点以上にすることを設定している。